

安全・安心を目指し

協定を締結しました

3月20日、防災体制の強化や市民のみなさんの安全・安心を目指し、茨城放送、いばらきコープ、パルシステム茨城と協定を締結しました。

協定の締結により、災害発生時に、緊急を要する連絡を優先的、臨時的に放送し、正確な情報を迅速に伝えることが可能となることや、流通在庫として保管している食料や生活物資の供給をしていただけることとなります。

また、見守り活動として、商品配送時に高齢者や子どもの見守りや道路の陥没情報の通報を行っていただきます。



◎茨城放送

・災害時における放送要請に関する協定

◎いばらきコープ

生活協同組合

・見守り活動への協力に関する協定

※物資供給協定

(平成18年締結済)

◎生活協同組合

パルシステム茨城

・災害時における生活必需物資の供給協力等に関する協定
・見守り活動への協力に関する協定

ばんどう

まちづくり

坂東市長 吉原英一



観光交流センター

「秀緑」完成に向けて

市のまちづくりの基本方針となる坂東市総合計画後期計画のなかで、中心市街地が担うべき役割として、産学官の連携や民間活力の導入による、快適で魅力あるまちづくりが求められています。中心市街地の活性化や産業振興を目指し、商店街に現存する大塚酒造跡地に、観光交流センター「秀緑」の整備を進めています。

現在、整備が完了したガラス体験工房では、吹きガ

ようとしています。

さらに、学生の活躍できる場として、ガラス工房やその他の木工、陶芸などの創作活動の場として活用していただくことで、まちの活性化や新たな産業創出につなげていきます。

本年度は、旧本蔵を改修したコンベンションホールや旧母屋を改修した総合案内所兼名産品・地場産品の紹介販売所のほか、軽食を提供できる休憩所の整備を進めていくとともに、来年秋のブランドオープンに向けて、今後、総合的なまちづくりを運営していくために民間活力を活かした「まちづくり会社」を設立し、更なるまちの活性化を図ります。

また、商店街店主による「魅力ある商店街づくり事業」が着手され、観光交流センター「秀緑」と連携した各種体験教室を実施することで信頼関係の構築を図り、生活支援や創業支援など、お客様目線できるとんこだわる商店街づくりが行われ

「秀緑」の歴史的な価値と文化の継承、緑豊かな景観を活かした憩いの場、楽しく学べる体験の場として、ここを訪れる多くのかたに愛される施設となるよう整備を進めます。